

< 実践事例 目黒区立上目黒小学校 >

1. 取組・活動名

「豊かな国際感覚の醸成を目指して」

2. 取組・活動のねらい

- 外国の学校や大使館の方々との交流を通して、外国の文化に親しみ、相手の国を大切にするなどの「おもてなしの心」を育てる。
- 他国の文化を学び、自国と他国との文化の違いや良さに気付かせる。

3. 教育課程上の教科名・時数

「学級活動（第1・2学年）、総合的な学習の時間（第3～6学年）・9時間」

4. 実施上の工夫

- ・年間3カ国と交流を行った。
- ・事前指導1時間、交流会1時間、事後指導1時間の計3時間で実施した。（3時間×3カ国の9時間）
- ・事前指導では、その国の挨拶を覚えたり、英語でのゲームを行ったり、英語の歌を歌ったりした。
- ・担当学年が図画工作科の時間にメダルや日本を象徴する、自然、食べ物、建物の粘土作品をプレゼントとして作成し日本のよさを伝えた。また、メダルには、交流国の言葉で一言メッセージを書き、おもてなしの心を伝えた。
- ・第6学年が鼓笛の演奏、第5学年が音楽会合奏曲を披露した。
- ・交流会終了後、お客様と児童が給食交流をした。交流国の代表的な食べ物をメニューにし、食文化を学んだり、和食メニュー時には、和食のよさを伝えたりした。
- ・事前・事後指導において、第5・6学年が交流した国や興味がある国に関して調べ学習を行い、新聞やプレゼンテーションソフトでまとめた。

<国際交流会の流れ>

- ①お客様入場（1分）
- ②英語で挨拶（1分）
- ③校長挨拶・お客様の紹介（3分）
- ④交流先によるプレゼンテーション（15分）・国の歴史、地理、文化など教えていただく
- ⑤英語で質問コーナー（10分）
- ⑥ゲーム（上目小へいこうよ）（14分）
- ⑦全員合唱「幸せなら手をたたこう」（3分）
- ※日本語と英語バージョン
- ⑧プレゼント贈呈（1分）
- ⑨お客様退場（1分）

5. 本取組・活動の内容

「アメリカ合衆国」

アメリカ合衆国からの語学留学生を2名迎え、国際交流会を行った。アメリカ合衆国の文化について学んだ後、英語での歌と手作りのプレゼントを贈呈し、おもてなしの心を伝えた。歓迎会の後には、給食による会食を実施した。



「トーゴ共和国」

伝統的な衣装を身にまとい、交流会に来校した。児童のために民族衣装の試着体験や民族楽器の演奏体験を実施し、大変貴重な体験をした。お礼に、手作りのペンダント、粘土作品をプレゼントした。



「インドネシア共和国」

東京インドネシア学校の児童を招待し、一緒に遊んだり給食を食べたりした。言葉は通じなくても心が通じ合う、笑顔の絶えない時間となった。翌年、上目黒小学校を代表して、第6学年が東京インドネシア学校に招待され、伝統的な踊りや武道を披露していただくなど、温かく迎えられた。



「ミャンマー連邦共和国」

ミャンマー連邦共和国視察団の方が授業参観に来校し、児童が作った花のアーチと温かな拍手で交流国の方を出迎えた。授業後には、管理職、教職員との質疑応答を行い、日本の教育について伝えた。



※これまで交流を行った国

インドネシア共和国・トーゴ共和国・ミャンマー連邦共和国・アメリカ合衆国・アルバニア共和国・スリランカ民主社会主義共和国

6. 成果

- ・交流を通して相手国の方に敬意をはらいお迎えをする「おもてなしの心」が育った。
- ・体験を通して他国の文化について理解を深め尊重する態度が育った。
- ・国による文化の違いや、それぞれのよさに気付くことができた。
- ・他国の文化に触れることにより、自国の文化も大切にしようとする意識が高まった。